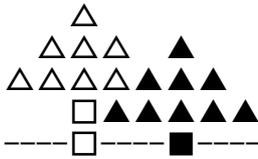


2017/3/29

林業試験場メールマガジン



『北の森の達人』

Vol. 49 第49号

読者の皆様へ

いつも林業試験場メールマガジン『北の森の達人』をお読みいただき、ありがとうございます。桜の便りも各地から聞こえてきました。新年度に向けて気持ちも新たにみなさまに情報を発信したいと思います。

■「光珠内季報」の181号、182号並びにグリーントピックス第54号を発行しました。

「光珠内季報」は、WEB版のみの発行となりましたので、当場のホームページ (<http://www.hro.or.jp/list/forest/research/fri/about/kanko.htm>) よりご覧いただきますようお願いいたします。

■刊行物ダイジェスト・・・光珠内季報第181号（2017.2発行）

- 1 水土保持に配慮した林業を～浸透能のはなし～・・・1頁  
北海道東部の林相，下層植生，地形の異なる森林において，土壌の浸透能に影響する要因を明らかにした。重機作業と人工林化によって浸透能が低下するが，表土攪乱を抑えた重機の運用，および間伐などの森林管理によって下層植生を導入することにより，浸透能の維持と改善が期待できる。
- 2 「障がい者の利用」を視点とした森林公園の路網状況の評価・・・5頁  
森林公園の路網に障がい者のための整備基準に基づく評価を適用し，路網の分類を試みたところ5つのグループが見出され，これらの中には障がい者の往来に困難が予想されるものが存在した。また，こうした箇所が存在により健全者ならば往来が可能であっても障がいを持つ人々にはこれが叶わない状況も確認された。森林公園は憩いの場であると同時に，そこを訪れる人々の交流の場としての機能も有していることから，公園全体が障がい者・健全者の区別なく利用できるような配慮が今後も求められる。

・・・光珠内季報第182号（2017.3発行）

- 1 トドマツ人工林の間伐後に更新した広葉樹の成長・・・1頁  
壮齢トドマツ人工林を対象に，列状間伐した林内に更新した広葉樹稚幼樹の成長を調査した。林冠閉鎖による林床植生の衰退により広葉樹種子が定着しやすくなり，30種以上の樹種が確認された。台風被害により林内環境が変化した，大きな稚幼樹は枯損せずに良好な生育を示すのが確認された。  
(キーワード：都市近郊林，トドマツ人工林，列状間伐，侵入広葉樹，風倒害)

- 2 過去に使った森林作業道の再利用  
一道路の締固めは重要です・・・6頁

過去に作設された作業道を再利用した森林作業道において，フォワーダ走行時にアクシデントが発生した。道路路面における土壌硬度の測定結果との対応から，道路の再利用において路面や路肩の締固めが重要であることがわかった。  
(キーワード：森林作業道，土壌硬度，締固め)

- 3 防風林による地温上昇効果

一日高地域の飼料用トウモロコシ圃場における事例一

11頁

北海道新ひだか町の飼料用トウモロコシ圃場において、防風林の温度上昇効果を調べた。防風林は生育初期および生育期間全体において平均で気温はほとんど変化させていなかったが、地温は0.8~0.9℃上昇させており、これまでの報告と比べても大きな地温上昇効果が見られた。

.....グリーントピックス第54号(2017.3発行)

- 1 欧州製ハーベスタの実力は!?
- 2 マニュアル『衛星画像による林況把握方法』を作成しました  
林業試験場HPで公開しています!
- 3 カラマツ人工林収穫予測ソフトのバージョンアップ

////////////////////////////////////

林業試験場メールマガジン『北の森の達人』は、北海道の森林・林業・身近なみどりに関わる情報を皆様に直接お届けするメールマガジンです。

■発行・編集

地方独立行政法人北海道立総合研究機構 森林研究本部林業試験場  
〒079-0198 北海道美唄市光珠内町東山

■問い合わせ

企画調整部普及グループ  
電子メール forestry-mm@hro.or.jp

■記事の取り扱い

林業試験場メールマガジンに掲載された記事を転載することはご遠慮ください。

////////////////////////////////////